学年	高校２年	教科	国語	科目	古典探究	単位数	2
教科書名		古典探求（数研出版）		副教材名	基本セミナー漢文入門（浜島書店） 読んで見て覚える重要古語単語315 三訂版（桐原書店） 新精選古典文法改訂版（東京書籍） 漢文名文選故事成語編（筑摩書房） 大学入学共通テスト演習（いいずな書店） 新演習　古典アチーブ２（桐原書店）		
コース・クラス		中高一貫理系					

Ⅰ．目標

古典としての古文と漢文を読む能力を身に付けることを通して、ものの見方、感じ方、考え方を広くさせ、古典に関心を持たせる。

Ⅱ．授業のねらい

古典に表れているさまざまなものの見方、感じ方、考え方を的確に読み取らせる。これを通して、思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育むことにより、人間としての資質の形成をねらいとする。本文内容の正確な理解、作品の背景、漢詩漢文が日本に与えた影響などを学習させる。

Ⅲ．授業の進め方

1　文法理解、文章内容の読解を主とし、ペアワークを展開し授業を進める。

2　文法事項や表現技法は、副教材やプリントを用いながら学習していく。

3　ipad で辞書やClassi note を活用し、視覚的要素も利用しながら理解を深める。

Ⅳ．学習上の留意点

1　教科書の新しい単元に入る際は、予習として語句の意味調べや作品の通読、書き下しを行うこと。

2　古語単語小テストの計画を確認し、事前に学習しておくこと。

3　古典基礎知識の定着を図り、興味、関心をもった事柄に対し、調べ学習をすること。

Ⅴ．定期試験

１学期　中間試験　：　高校１年次の復習、敬語・助詞、漢文基礎知識、漢文故事、初見問題、古文単語

１学期　期末試験　：　中間試験までの復習、『枕草子』、漢文史伝、漢文句法、初見問題、古文単語

２学期　中間試験　：　文法総復習、『大和物語』、古文文法、漢文思想、漢文句法、初見問題、古文単語

２学期　期末試験　：　『源氏物語』、古文文法、漢文思想、漢文句法、初見問題、古文単語

３学期　学年末　　：　『古本説話集』、古文文法、漢文文章、漢文句法、初見問題、古文単語

Ⅵ．評価の方法

1　定期試験…授業内容を理解し、それを応用することができる。

2　小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。

3　提出物…積極的に授業に参加し、課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

Ⅶ．授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	・用言・助動詞の復習 ・説話　『十訓抄』大江山 ・『新精選古典文法』 　助詞・敬語 ・『漢文入門』 　二重否定 ・韓非子 ・『枕草子』大納言参り給ひて ・『新精選古典文法』 　助詞・副詞 ・史伝　『史記』四面楚歌 ・『漢文入門』 ・問題演習	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・用言、助動詞を理解し、読解に活かせる。 ・「大江山」が示す教訓について考え、表現することができる。 ・句形を正確に把握する。 ・正確な書き下し文、現代語訳ができる。 ・助詞、助動詞を理解し、読解に活かせる。 ・句法、助字、語句の知識を生かして本文を理解することができる。 ・問題演習に取り組み、解き方を理解する。
二学期	9 10 11 12	・『新精選古典文法』 ・『大和物語』鳥飼の院 ・思想　『論語』『孟子』『荀子』 ・『漢文入門』 ・『源氏物語』光源氏誕生 ・『新精選古典文法』 　助詞・助動詞・敬語 ・思想　『老子』『荘子』『韓非子』 ・『精説漢文』二重否定 ・問題演習	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・助詞・敬語の知識を定着させ、読解に活かすことができる。 ・文学の背景を理解する。 ・登場人物や場面状況に即して心情を理解することができる。 ・漢文における句法、助字、語句の意味をおさえる。 ・登場人物や場面状況に即して心情を理解することができる。 ・中国の歴史的背景を理解する。 ・問題演習に取り組み、解き方を理解する。
三学期	1 2 3	・問題演習 ・和歌・歌謡 ・『古本説話集』鳥の空音 ・『新精選古典文法』 　総復習、和歌の修辞法 ・文章　逸話 ・『漢文入門』総復習	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・応用問題にも対応できる力を身につける。 ・和歌の修辞法を理解し、読解に役立てることができる。 ・漢文の句法を押さえつつ、読解をすることができる。

※　シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により変更することもあります。